

## VI 生涯学習課

### 1 庶務係

#### 蟹江町社会教育委員名簿

職 名	氏 名
委 員 長	佐 藤 茂
副 委 員 長	神 田 雅 彦
委 員	北 條 寿 文
委 員	後 藤 尚 人
委 員	木 下 眞 吾
委 員	山 田 久 子
委 員	岸 幸 雄
委 員	飯 田 數 義
委 員	加 藤 俊 男

(敬称略)

#### (1) 社会教育委員の活動状況

##### ① 社会教育委員会議の開催状況

###### 社会教育委員会議の構成

- ・ 会議の種類 定例会 (年2回開催5月・11月)
- ・ 構 成 員 社会教育委員、教育長、教育部次長、生涯学習課長、生涯学習課長補佐、図書館館長

##### ② 会議の運営状況

平成29年度における蟹江町社会教育委員の定例会の主な活動状況は次のとおりである。

開催日	議 案 ・ 報 告 事 項 等
平成29年5月30日 (定例会)	<b>【協議事項】</b> 1 平成28年度事業報告について ア 生涯学習課関係事業報告について イ 蟹江町図書館事業報告について 2 平成29年度事業計画について ア 生涯学習課関係事業計画について イ 蟹江町図書館事業計画について
開催日	議 案 ・ 報 告 事 項 等
平成29年11月15日 (定例会)	<b>【協議事項】</b> 1 平成29年度事業中間(上半期4月～9月)報告について ア 生涯学習課事業中間報告について イ 図書館事業中間報告について

	2 平成30年度事業計画(案)について ア 生涯学習課関係事業計画(案)について イ 蟹江町図書館事業計画(案)について
--	--

## 2 生涯学習係

### (1) 公民館事業

講座・各種教室の開催 (平成29年度実績)

#### ① 公民館講座

講座・教室名	中央公民館・中央公民館分館		
	開催数	募集人員	参加数
クレイアート教室	4回	20人	8人
親父の料理教室	4回	各24人	21人、20人、24人、25人
カラーコーディネート講座	5回	20人	11人
カリグラフィー教室	5回	15人	7人
今日からできる骨盤美人エクササイズ	6回	20人	33人

#### ② 公民館自主グループの支援

公民館講座の修了者が、結成した自主グループに対し、施設利用料の一部を減額することで、団体活動を支援し、公民館活動を促進する。

#### [点検・評価]

中央公民館・分館では、生涯学習・文化活動の拠点として、学習や交流の場を提供するため、各種講座を開設している。また、参加者に対するアンケート調査を実施し、今後も町民のニーズに応えられるような講座を開設していくことに努めていく。

### (2) 家庭教育・人権教育

#### ① 家庭教育講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
わくわく子育て教室	5回	20家族40人	12家族25人	蟹江中央公民館
親と子の料理教室	1回	16組32人	16組32人	蟹江中央公民館
にじいろクワガタを育てよう	1回	40家族80人	47家族105人	蟹江中央公民館
ちょこっと探検隊	1回	20組40人	15家族31人	愛知県防災航空隊 でんきの科学館
親子キャンプ教室	1回	70人	19家族57人	愛知県設楽町 つぐ高原グリーンパーク

〔点検・評価〕

親と子の料理教室は、人気のキャラクターを題材にしたのが良かったため、申込者が多く抽選となった。今後もニーズにあったものを取り入れていくことが必要と思われる。

ニジイロクワガタを育てようは、親子でニジイロクワガタを幼虫から成虫になるまで観察しながら育て、親子の絆を強めることを目的とした講座で、予想を上回る参加があった。来年度以降は講師多忙につき開催が出来なくなるため、新たな子ども向けの事業を計画する必要がある。

親子キャンプ教室については、26年度から、つく高原グリーンパークで事業を行っている。申込者も多く、普段では体験できない、飯ごう炊さんやキャンプファイヤーなどを行うことができ、大変好評である。毎年抽選となっていることから、事業内容の検討をし、より多くのかたが参加できるようにしたい。

(3) 青少年健全育成

① 青少年健全育成講座

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
子ども料理教室	2回	各24人	24人、16人	蟹江中央公民館
わんぱく料理教室	1回	24人	25人	蟹江中央公民館
木工体験教室	1回	15人	14人	蟹江中央公民館

② 成人式

「はたち」を迎える新成人が、明るい未来の担い手としての自覚を持ち、社会人としての責任ある行動をとることを願い、地域社会全体で祝い励ます。

(開催日：平成30年1月7日(日) 対象者：400人 参加者：302人)

③ 沖縄県読谷村中学生交流事業

町在住の中学生を沖縄県読谷村へ派遣し、地元中学生との交流や民泊をとおし、伝統・文化を学ぶ。

(派遣日：平成29年8月24日(木)～26日(土) 募集人員12人 参加者：12人)

④ 青少年相談事業

青少年問題協議会専門委員による相談事業を毎月1回、中央公民館分館にて実施している。

⑤ 青少年健全育成運動

青少年の非行防止のため、指導者研修会や街頭指導を年2回実施している。

〔点検・評価〕

子ども料理教室は、テーマ設定によって、応募者数が増減することから、今後とも町民のニーズに応えているか検討し、魅力ある教室づくりに努めていく必要がある。

成人式は、町外へ転出している方も出席できるよう、窓口を広げていることも

あり、出席率もよい。また、女性からは午後の開催ということが、着付けに早朝から行かなくてもよいことが好評である。

新規事業である、中学生交流事業については、読谷村内の中学生や住民と交流を図り、沖縄県の歴史、文化、平和学習を行うことができた。

#### (4) 生涯学習関係団体育成

##### ① 蟹江町文化協会

文化協会の円滑な運営及び芸術文化活動の充実に資するため、補助金を交付し指導・育成する。

9部門 45団体 577人 補助金1,101,950円

##### ② 蟹江町婦人会

婦人の地位向上や心豊かな地域社会の発展に寄与することを目的に、婦人会に対し補助金を交付し支援する。

9支部 16,380世帯 補助金1,227,000円

##### ③ 蟹江町小中学校PTA交付金

学校と連携を密に、教育の充実と地域社会の発展・振興に寄与するPTA活動に対し、交付金を交付し支援する。

7小中学校 2,875人 交付金1,308,700円

#### 〔点検・評価〕

町民が健全で豊かな生活を営むために、社会教育関係団体に対して補助金（交付金）を交付することにより、町民の健康と地域文化の向上並びに町民相互の親睦を図ることができる。

#### (5) 生涯学習まちづくりの推進

##### ① 生涯学習まちづくり推進町民大会の開催

青少年健全育成・家庭教育推進・生涯学習の推進を促す町民大会として開催した。

・ 開催日 平成29年7月2日(日)

・ 開催場所 蟹江中央公民館集会室

##### ○生涯学習文化交流会

須成鼓笛保存会

愛知県設楽町 花まつり保存会 入場者 430人

##### ② 文化祭の開催

町内における文化振興を図り、各種文化団体（または個人）の親睦と連携を深め、併せて生涯学習まちづくりを推進する。

・ 開催日 平成29年11月4日(土)・5日(日)

展示の部 1,781人

芸能の部 25団体 355人

・ 開催場所 蟹江中央公民館・蟹江町体育館

### ③ 創年式の開催

60歳を迎えた方が集い、人生の節目を共に喜び合い、地域への連帯感を確認しながら人生の再出発を祝う。

- ・ 開催日 平成29年10月22日(日) 対象者：444人 参加者：56人
- ・ 内容 式典、各種相談コーナー  
(健康相談・ボランティア・生涯学習啓発)
- ・ 講演会 藤井雅臣 「健康に長生きするために ～お酒・たばこに関するお話～」
- ・ 開催場所 蟹江中央公民館

#### [点検・評価]

生涯学習まちづくり推進町民大会は、第2部を「生涯学習文化交流会」として、愛知県設楽町の芸能団を初めて招待し、開催した。アンケートの結果、8割程度が満足いく結果となった。大会の周知方法が今後の課題として挙げられたため、この点を改善し次回大会に繋げていきたい。

また、今年で10回目の創年式を開催した。対象者から見ると出席率が平成23年度以降、10%前後となり年々低くなるのが課題である。10回目という節目の年ということもあり、事業を見直す必要がある。

## 3 歴史民俗係

### (1) 歴史民俗資料館利用状況

開館日数及び入館者数(内講座利用者)

開館日数	306日
入館者数	11,932人(576人)
1日当たり	39人

#### [点検・評価]

平成29年度は、須成祭ユネスコ無形文化遺産登録記念特別展の入場者数が多かったことや、講座受講者数の増加により、全体の入館者数が28年度に比べ大幅に増加した。今後も魅力ある展示や講座を実施することで、多くの方に来ていただけるようにしていきたい。

### (2) 収集・保管

① 収蔵資料点数 4,229点

② 郷土文化資料購入

館蔵資料の充実のため、郷土の文化人や町の歴史に関する資料等を購入した。

『茶室困之絵図』	1冊
森本三鎧作 一行書	1点
林稼亭作 花鳥風月図	1点
宇佐美江中 潮風 10号	1点

### ③ 資料の寄贈・寄託

町内外の方から関連資料18点の寄贈を受けた。

#### 〔点検・評価〕

平成29年度においては、購入資料4点、寄贈資料18点、合計22点の資料を収蔵した。

購入資料については、町民の方の理解を得るため、定期的に公開をしている。資料の寄贈・寄託については、持ち主の方から資料館の役割についての理解と信頼をいただくことが必要であるため、期待に沿えるような活動を行わなくてはならない。

一方で、資料の数は年々増加しており、収容力不足となりつつある。この現状をいかに解消するのが課題となっている。また、収蔵資料は保管するだけでなく、整理した情報をデータ化し、調査・研究のために活用しやすい状態にしておくことが大切である。資料保存のための周辺設備とともに、管理体制も充実させる必要がある。

### (3) 展示

#### ① 常設展示の充実

年間を通じてテーマを設定し、郷土の歴史、民俗にかかる資料の展示を行った。さらに、購入した郷土文化資料や新たな寄贈資料を加えることで、常設展示の充実を図った。

#### ② 企画・特別展示

町の歴史・民俗に関連する企画展・特別展を実施した。

##### ア 特別展

###### ・「子供と祭礼行事」

展示場所 企画展示室

展示期間 平成30年1月13日～3月11日 来館者数2,879人

##### イ 企画展

###### ・「須成祭パネル展」

展示場所 ①蟹江町図書館

②産業文化会館 1階ロビー

展示期間 ①平成29年6月1日～6月29日

②平成29年7月1日～8月19日

###### ・「エコきつず調査隊成果発表展」

展示場所 産業文化会館 1階ロビー

展示期間 平成29年8月22日～9月3日

###### ・ミニ企画展「お年切手シート展」

展示場所 歴史民俗資料館 企画展示室前

展示期間 平成29年12月15日～平成30年1月31日

- ・ミニ企画展「ユニークな郷土びなたち」
- 展示場所 歴史民俗資料館 企画展示室前
- 展示期間 平成30年2月3日～3月11日

〔点検・評価〕

展示活動は、収集した資料等を調査研究したうえで公開するもので、資料から一目で学習情報を読み取り理解できるという学習効果が望める資料館の重要な事業の一つである。

平成29年度は、特別展「子供と祭礼行事」を開催したほか、「須成祭パネル展」を2つの会場で行うなど、随時企画展をこまめに行い、来館者のニーズに応えた。

特別展に加え、企画展を開催することで、調査・研究の成果を公開し郷土の歴史・文化について発信するとともに、来館者のニーズに素早く対応しリピーターを増やす効果が期待できる。今後も継続的に実施して資料館活動を充実させていくべきである。

(4) 調査・研究

- ① 資料館関連資料についての調査・研究  
展示内容の充実を図るために、関連資料等の調査・研究を行った。
- ② その他調査  
愛知県史編纂等にとまなう調査や学生の卒業論文作成のための調査等への協力を、依頼に応じて随時行った。

〔点検・評価〕

資料を展示し、教育普及・情報提供活動に供するうえで、調査・研究活動は資料館運営の根幹事業である。これからも調査・研究事業を円滑に進めていくためには関係各位の理解と協力が不可欠であり、地域との連携が重要になるであろう。

(5) 情報提供

- ① 各種印刷物等の発行  
歴史民俗資料館年報第38冊発刊  
「知ってみよう！須成祭」発行
- ② 関連機関発行の印刷物等への情報提供  
新聞社、出版社、放送局などの機関に対し、町の歴史や民俗に関する情報提供を、依頼に応じて随時行った。

〔点検・評価〕

歴史民俗資料館年報第38冊については、教育委員会及び県立図書館などに寄贈したほか、既刊の印刷物とともに窓口で有料配布を行い、資料を持ち帰って学習したいという来館者のニーズに対応している。また、平成29年度においても、前年度に引き続き、ユネスコ無形文化遺産に登録された須成祭に関する情報提供の依頼が多数あった。これをうけ、須成祭について大人にも子供にも分かりやすいパンフレット「知ってみよう！須成祭」を作成し、好評を得ている。今後も、利用者目線での情報提供ができるよう、心がけたい。

(6) 教育普及

① 主催講座

講座・教室名	中央公民館分館ほか		
	開催数	募集人員	参加数
古文書を読む会	8回	30人	30人
「かにえ地域学」講座	6回	20人	20人
環境学習 エコきつず調査隊	4回	20人	15人
須成祭マイスター養成講座	10回	20人	19人
郷土体験学習会	4回	25人	4回計56人
文化財研修会	1回	50人	57人

② 出前授業

小中学校に呼びかけ希望を募り、資料館学芸員が学校に出向いて蟹江町の歴史や文化についての解説をした。

日程	時間	内容
平成29年6月21日	新蟹江小学校	蟹江の町のうつりかわりについて
平成29年7月4日	蟹江小学校	蟹江の町のうつりかわりについて
平成29年7月12日	蟹江小学校	蟹江の祭りについて
平成29年7月14日	学戸小学校	蟹江の祭りについて
平成29年9月26日	新蟹江学校	蟹江の郷土食について
平成29年10月3日	新蟹江小学校	盛んだった漁業について

③ 博物館実習

学芸員の資格取得をめざす大学生2名を実習生として受け入れ、資料の取扱いや企画展準備等の実習を行った。

開催日	内容
平成29年8月16日	オリエンテーション 資料館の業務について 学芸員の実務について 資料の取扱い・展示活動について①
平成29年8月17日	調査・研究活動について 事業の企画・立案について
平成29年8月18日	教育普及活動について
平成29年8月19日	資料の取扱いについて
平成29年8月20日	展示活動について② まとめ



#### 〔点検・評価〕

平成29年度の講座全体の受講者数や出席率は28年度に比べて大幅に増加した。特に古文書を読む会やかにえ地域学講座は、リピーターも多いうえに新規会員も増えている。講座内容を見直しながら継続してきた成果が現れているといえよう。一方で、子供対象の講座や出前授業の要望回数は若干減少している。受講者数の減少は少子化の影響もあるかもしれないが、子どもたちの郷土学習への関心を高めることができるよう、学校と連携をとりながら、実施内容を吟味しつつ継続して実施していきたい。平成29年度は博物館実習生の受け入れがあった。実習生たちが将来、実習の成果を発揮することができるようお願いしたい。

#### 4 文化財保護係

##### (1) 須成祭ユネスコ無形文化遺産登録関連事業

平成28年12月1日（日本時間）に「山・鉾・屋台行事」の一つとしてユネスコ無形文化遺産に登録された須成祭について、平成29年度は登録後初の祭り開催であったことから、来場者増加にともなう祭り当日の雑踏警備、簡易トイレ等設置、交通案内等の対応をするとともに、多数の関係者を招待し交流会を開催した。

##### ・須成祭交流会

開催日 平成29年8月5日（土）

開催場所 龍照院客殿及び須成祭会場棧敷

参加者 51人

##### (2) 文化財保護等補助事業

町内文化財保護団体に対し、文化財保護にかかる経費の補助を行い、歴史・文化の形成を正しく理解する上での基礎資料である文化財を、保存・伝承し、活用を図る等、人的・物的支援を実施した。

補助事業数：国指定無形民俗文化財伝承活動事業始め4事業

補助団体件数：須成文化財保護委員会始め20件

町費補助額：2,933,000円

##### (3) 文化財資料出展公開事業

10月の町民まつりにあわせて、各町内会に協力を依頼し、町内に存する神楽屋形や祭囃子等をまつり会場にて出展公開した。

公開期日 平成29年10月8日（日）

協力町内会 須成、蟹江新町、今、源氏才勝、西大海用、東大海用、  
本町分、舟入、北之町

##### (4) 重要文化財公開事業

国指定重要文化財である龍照院の十一面観音立像の公開を毎月18日に行ったほか、事前申し込みに応じて随時公開をした。

(5) 文化財普及・啓発事業

全国山・鉾・屋台保存連合会やあいち山車まつり日本一協議会に加盟し、県内外の関係市町や関係機関と協力をしながら、関連の研修や啓発活動を実施した。

〔点検・評価〕

平成29年度においては、須成祭が、平成28年にユネスコ無形文化遺産に登録されて初の祭り実施であり多数の来場者が見込まれたため、事前に関係課や地元の方々と調整をとりながら、祭り当日の警備等の対応を行った。宵祭では、愛知県知事、名古屋市長はじめ多くの来賓の方々をまねき交流会を行うことで、当町の伝統行事にふれいただくことができた。今後も継続して須成祭についての情報発信を行うとともに、祭りの伝承の支えになれるよう、事業を実施していくことが必要とされるだろう。また、須成祭が広く注目されることをきっかけにして、町内の他の文化財等にも関心を持っていただけるよう、啓発していきたい。

5 生涯スポーツ係

(1) スポーツ事業

① 各種スポーツ教室

町民が日常生活の中にスポーツを取り入れ、楽しみながら体力向上と健康増進を図ることを目的として開催した。

講座・教室名	開催数	募集人員	参加数	開催場所
ヨガ教室	5回	40人	40人	蟹江中央公民館分館
カローリング教室	3回	18人	14人	蟹江町体育館分館
合気道教室	4回	15人	16人	蟹江中学校武道場

〔点検・評価〕

ヨガ教室・合気道教室については、今後も時期や時間帯を検討し、住民ニーズを把握しながら、参加しやすい状況を展開していく。

また、新規講座としてカローリング教室を開催した。

(2) スポーツ推進委員・地区スポーツ協力員

町民がスポーツ及びレクリエーション活動をすることにより、体力の維持・向上を目指しスポーツ推進委員、地区スポーツ協力員を教育委員会が委嘱する。

② スポーツ推進委員 任期 平成28年・29年度 18人

② 地区スポーツ協力員 任期 平成29年・30年度 43人

③ 各種講習会

・指導者研修会

ニュースポーツフェスティバル開催に向け、スポーツ推進委員及び

地区スポーツ協力員に対し、指導・普及を目的として講習会を開催した。

【種目】 体力テスト、ドッジボール、キンボール、カローリング、  
ペタンク

・スポーツ推進委員各種研修会

【種目】 体力づくり運動、ラージボール

〔点検・評価〕

スポーツ推進委員が、各種研修会へ積極的に参加しスポーツ推進委員の資質向上を目指す。また、地域社会の活性化と住民の豊かな心と健康を図るため、生涯スポーツを推進し、その手段の一つとしてニュースポーツを通じて、町民の運動への関心を高めることが重要であり、スポーツ推進委員を中心として、地区スポーツ協力員と連携し各種教室・大会を開催した。

(3) スポーツ団体の指導・育成

① 生き生きかにえスポーツクラブ

総合型地域スポーツクラブとして平成22年3月14日に設立。

平成26年10月29日にNPO法人を取得

・役員 理事 6人 監事 1人

・会員数 385人

・講座数 常時 18講座 特別短期 5講座

・イベント 4回 (バスハイキング(多賀三社参り、伊勢神宮等散策)) キッズうんどう体験等

・交付金等 交付金 2,000,000円

② 蟹江町体育協会

体育、スポーツの振興と普及を図り、町民の体力向上を資するとともに、健康で明るい社会の建設を目的とする協会の活動に対し、指導・育成する。

・15団体 1,269人 補助金 2,338,800円

③ 蟹江町スポーツ少年団

青少年がスポーツを通じて心身を鍛錬し、青少年の健全育成に資することを目的とした団の活動に対し、指導・育成する。

・15単位団 団員472人 指導者115人 補助金663,350円

〔点検・評価〕

海部地区で2番目の設立(H22.3月)となった総合型地域スポーツクラブ「生き生きかにえスポーツクラブ」が設立8年目となり、平成26年10月29日に法人格を取得した。前年度と比較すると、会員数が減少したものの順調に運営されている。今後も、クラブ会員の増員を図ることや、各スポーツ団体や生涯学習課との連携を図りながら、事業展開の必要がある。

また、体育協会・スポーツ少年団に関しては、事務庶務等を生涯学習課からの移譲が課題である。

(4) 各種協議会・大会の開催

- ① 第13回ニュースポーツフェスティバル(民生部健康推進課共催事業)  
気軽に楽しめるニュースポーツを通して、明るい町民生活に寄与することを目的として開催する。また、体力テストの実施により健康維持増進に役立てる。  
・実施日 平成29年9月3日(日) 参加者数 130人  
・開催場所 蟹江中央公民館、蟹江町体育館
- ② 第37回蟹江町みんなで走ろう会  
みんなで走ることにより、体力づくりと家族のふれあいや友達との親睦を深めることを目的として開催する。日光川ウォーターパークを発着点として、3km及びジョギングの2部門を実施した。  
・実施日 平成29年12月10日(日) 参加者数 576人  
・開催場所 日光川ウォーターパーク周辺
- ③ 第38回蟹江町駅伝大会  
チームで走ることにより、相互親睦と協調性を高め、地域住民のスポーツの振興を図ることを目的として開催する。平成27年度より蟹江町希望の丘広場周辺で、小学生の部である5人1組で約7.5kmを走る部門及び小学生以外の部の5人1組で13kmを走る部門の2部制で実施した。  
・実施日 平成30年1月28日(日) 参加チーム 112チーム  
・開催場所 蟹江町希望の丘広場周辺
- ④ みんなで歩こう会(年2回開催)  
みんなで歩くことにより、体力づくりと家族のふれあいや友達との親睦を深める。また、ウォーキングの習慣を身に付けることで健康増進を図ることを目的として開催した。  
・実施日 平成29年6月4日(日)開催場所 三重県大台町 参加者80人  
・実施日 平成29年10月29日(日)開催場所 愛知県豊川市  
※台風接近の為、中止
- ⑤ 愛知万博メモリアル第12回愛知県市町村対抗駅伝競走大会  
2005年「愛知万博」を次世代へ語り継ぐと同時に、愛知県内の市町村の交流、市町村合併後の一体化促進、県民意識の高揚、県民スポーツの振興を目的として開催され、参加した。  
・実施日 平成29年12月2日(土) 開催場所 愛・地球博記念公園  
・内容 小学生の部から40歳以上の部まで男女9名による継走  
・出場者 一般公募により選手選考を経て選手決定  
・成績 町村の部 16町村中5位

〔点検・評価〕

昨今の健康志向により、豊かな自然や町並み散策を兼ねたウォーキングへの申込者は多くなってきている。蟹江町駅伝大会は、平成27年度より会場を新蟹江小学校周辺から希望の丘広場周辺に変更した。ニュースポーツフェスティバルについては、今後もより多くの住民が参加したいと思うイベントにしていきたい。みんなで走ろう会においては、小さい子どもも一緒に走れることから、ジョギングの部に家族単位での参加が増えている。

(5) その他

① スポーツ表彰

蟹江町在住・在勤の者が、全国規模のスポーツ大会に蟹江町及び愛知県の代表選手として出場した場合、栄誉を称えるため蟹江町功労者表彰により表彰した。 表彰者 10人

② 全国大会等出場選手奨励金支給

アマチュアスポーツ競技の全国大会等に選手として出場する個人または団体の小・中学生に対し、奨励金を支給する。 該当者 4人

③ スポーツカレンダーの発行

町及び町体育協会等の実施する、年間スポーツ行事を掲載したカレンダーを全戸配付することで、町民に事業参加を促し、スポーツ振興・健康づくりの推進に寄与する。 年1回 4月発行 1,000部

〔点検・評価〕

全国規模の各種スポーツ大会へ出場した場合、表彰、奨励金を支給することにより今後のスポーツ活動の糧となり励みとなっている。

6 女性対策係

(1) 女性対策

女性教育研修会

蟹江町婦人会代表者研修

社会教育活動を推進するため、地域活動の担い手に対して社会教育活動を企画実施するうえで必要な知識や技術の習得を行う。また、市町村を越えた情報交換の機会を設け、地域及び県域で社会教育を担う指導者としての資質向上を図る。

〔点検・評価〕

国・県主催による女性の地位向上に向けた研修事業等に参加した。また、政策推進のプランの中で女性教育活動推進のため、民間の女性教育指導者に対し、女性教育指導者としての資質向上を図る研修事業等に参加を求めていく。

## 7 施設係

### (1) 生涯学習施設、設備及び備品の整備

① 中央公民館分館4階の空調設備改修工事を実施した。

蟹江中央公民館分館空調設備改修工事 10,584,000円

② 生涯学習施設をPRし、使用方法等を周知し、更に一層の利用促進を図った。

③ 学校体育施設を町民の健康増進及びスポーツ振興を図るため、町内小・中学校の屋外・屋内体育施設を町民に開放した。

#### 〔点検・評価〕

中央公民館分館4階の空調設備改修工事を行うことで、快適に施設を利用してもらうことができるようになった。

また、新しい機器を入れたことによって、電気料の削減も期待できる。

グラウンド、テニスコートの有料化も定着してきた。総合型地域スポーツクラブが発足し、今までの体育協会等の既存利用者の利用既得権が強いことから、「活き生きかにえスポーツクラブ」の活動場所の確保が困難ではあるが、体育施設の有効かつ効果的な利用を推進するために、利用頻度の少ない施設の活用及び連絡調整に努めた。

蟹江町希望の丘広場は、フットサルコートやバーベキュー広場等、幅広く多くの方に使用されるようになった。

生涯学習施設は全般的に老朽化が進んでおり、施設の改修が必要である。今後、改修計画等を立案し、それに従って順次メンテナンスを行っていく必要がある。